

3学期を迎えて

本校のホームページを訪問していただきありがとうございます。

3月から5月末までつづいた臨時休業をとりもどすべく、夏季休業・冬季休業の短縮をへて、いよいよ第3学期を迎えました。しかし、新型コロナウイルス感染症の猛威が収まるどころか、再拡大が続き、1月14日に愛知県に緊急事態宣言が発令されました。幸い、学校の教育活動は継続できますが、感染拡大防止の観点から、様々な活動場面で制約を設けざるを得ない状況になっています。

本校は、本年度、あいちラーニング推進事業研究主管校の指定を受け、ICTを効果的に使い、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、授業改善に取り組んできました。来る2月4日には、三河地区の高等学校、近隣の中学校の先生方をお招きし、公開授業・研究授業を実施する予定でした。しかし、愛知県の緊急事態措置を受け、外部からの参観者をお招きすることは控え、校内研修会として実施することとしました。研究途中ですが、これまでの成果を披露するとともに今後の方向性を示すことができればと考えていましたが、次の機会に向けて校内研修を充実させていきます。

本校の総合ビジネス科3年生は、ほぼ全員の進路が決定しました。特に、就職希望者については、コロナ禍により、全体の求人数が減少し、就職試験が1ヵ月後ろ倒しとなるなど心配しましたが、地元の企業のみなさんからはいつもどおりの求人をいただき、例年と変わらない進路決定ができました。改めて、地域の方々、OBの方々に支えられていると感謝申し上げたいと思います。

一方、普通科の3年生は、そのほとんどが、大学入試という関門を乗り越え、進路決定していきます。1月16日・17日に、無事、大学入学共通テストを受けてきました。これ

を皮切りに、私大入試・国公立大入試が続いていきます。生徒の進路を全力で後押しできるよう万全の態勢で臨んでいます。

新型コロナウイルス感染症に振り回され創立100周年記念式典は延期となっていますが、昨年8月に正門・中庭は一新されました。また、来る2月には、待望の創立100周年記念誌も出来上がります。幾多の困難を乗り越えてきた本校の歴史を見ることができます。発行に間に合うかのように、校内から、長く行方が分からなくなっていた、国府高女時代からの校旗も発見されました。この校旗とともに、豊川市立高校の校旗も同じ場所から見つかりました。戦後の新制高校の大改革の中で、本校と統合していった豊川市立高校。校長室には、当時、在籍された生徒や教鞭をとられた先生方の思いをつづった冊子があります。表紙を捲ると、「雑草の遊子 ここに學ぶ」の文字が目飛び込んできます。雑草のごとく、逆境にあっても笑いを忘れず、熱気に満ち溢れて学校生活をおくる生徒たちの姿を垣間見ることができます。

この100年の間にここに集い学んだ多くの方の思いが今も変わらず本校の中に息づいていることを改めて感じています。3学期を迎え、こうした思いにこたえるべく、101年目のスタートを切ろうと決意を新たにしました。

校長 伊與田 万知